

なな山だより

24号

2012年1月8日 なな山緑地の会発行



ありますように
本年が、平和で幸せで
新しく迎えました



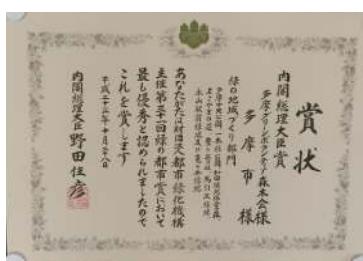
「早春の里山」鎌田文雄

思い起こせば昨年の今頃、新年をつつがなくおだやかに迎えたように覚えます。しかし、三月に突如として東日本大震災が発生、追い討ちをかけるように福島の原発事故の危機にさらされ、今までの常識を一変するような出来事に直面することとなりました。被災者の方々に心からお見舞い申し上げますとともに、私も国民の一人として、一日も早い本格的な復旧と復興を願い、今年がそのスタートになればと応援しております。さて、「なな山」ですが、中の山と東の境に手が入りきれいになりました。また、竜ヶ峰通りの「法面」(のりめん)、約二千平方メートルの管理を道路課と正式に結びました。法面といつても貴重な緑地です。そして、例年通り多摩第二小学校の「おやじの会」主催の「なな山で遊ぼう」で大勢の児童・保護者が訪れてくれました。今年も怪我や事故がないように活動していきましょう。皆様のご理解とご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

なな山緑地の会会長 高木 直樹



●第31回緑の都市賞で内閣総理大臣賞を受賞



昨年7月、多摩グリーンボランティア森木会は、財団法人都市緑化機構主催の「第31回 緑の都市賞」に応募したところ、「内閣総理大臣賞」を受賞することができました。

「なな山緑地の会」も「和田緑地保全の会」という名称で、表彰された一団体に入っています。

●なな山の放射線量測定

3月の福島原発の事故で350kmも離れた、埼玉や東京でも放射能が計測されました。「なな山」でも、腐葉土の畑への鋤き込みや、二小の多くの、児童、保護者の訪問が予定されていたため測定器を借り、なな山全体で14カ所測定しました。どこも数値は低く、安全は確認されていましたが、改めて市に測定を依頼しました。11月29日我々の立会いのもと、子どもたちの遊びの場となる西の山を中心に測定しましたが、最高 $0.08\mu\text{Sv}/\text{h}$ と国の基準を下回り、安心して子どもたちを迎えることができました。

今年も楽しかった「なな山で遊ぼう！」

多摩第二小学校 おやじの会 菊地 寛

12月4日の日曜日に「なな山」に多摩第二小学校の子供達を集めて「なな山で遊ぼう！」を行いました。

今回は10月下旬より「里山の落ち葉や木々を使ってどんな遊びをさせてあげられるか？」といろいろと話し合い、参加募集を行いましたが、今年は秋の気温が高く落葉がなかなか進まないことと、東日本大震災による放射能汚染が心配されたことから「参加者がかなり減ってしまうのではないか？」と不安でした。その心配も取越し苦労で終わり、二小児童のほか保護者、入学前の子供達など総勢130名以上が参加し、過去最高人数での開催となりました。

遊びは、毎年同様に木工工作、丸太切り体験、木登り、ターザンロープ、カブトムシの幼虫探しを用意していましたが、子供達は私達が思いつかなかった遊び（弓矢を作つてロビンフット？）を始めたり、落ち葉が少なく危険と思っていたソリ遊びも始まり、改めて子供達の想像力やたくましさに感心しました。また、第二小学校の後藤校長先生も子供達と一緒に

木登り体験をされ、5m以上はある木登りを軽々とこなされたのにはとても驚きました。

お昼には、PTCAのお母さんたちによる豚汁のごちそう（豚汁の大根や里芋はなな山の畠で取れたものをご提供頂きました）やおやじの会による「つくねの焼き鳥」とダッヂオーブンで焼く「焼きりんご」もあり、みんな大満足だったと思います。

そして、朝10時にスタートした遊びも14時過ぎで終了となり、閉会式直前には大人の方達も木工工作に熱中していて、大人も子供も名残惜しそうに閉会式を迎えるました。

閉会式では、高木会長、相田さんから「中学生になってもいつでも遊びにおいて！」とご挨拶があり、子供達もまた遊びに来たいと感じたことだと思います。

最後に、「なな山」を守り「なな山で遊ぼう！」にご協力頂いた「なな山緑地の会」の皆様に感謝します。そして、また来年もよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。



カブトムシの幼虫探し



はしご登り



ターザンロープ



工作完成



落葉掃き



工作中



学習睡眠法 鎌田文雄

テレビでプロゴルファーの石川 遼が「聞き流すだけで上達するスピードラーニング」という英会話テープのコマーシャルをやっている。昔、私も聞き流すだけというのをやったことがある。英語ではなくイタリア語で。

当時、会社員だった私は建設機械の現地生産をヨーロッパにするため、イタリアへ出張する機会が何度かあった。イタリア人と話すのは、もちろん通訳を通してであったが、食事中など少しはイタリア語ができる方が友好的になるのではと、勉強をはじめた。ラジオのイタリア語講座を録音して聞くのだが、日中は忙しく、どうしても床に入ってから聞くことになる。ところが、3分もたたないうちに眠ってしまう。

それを家族から言われて「寝ていても、いつの間にか脳が言葉を覚えている。これが、睡眠学習法だ」とがんばったが、娘から「お父さんは睡眠学習法じゃなくて学習睡眠法じゃない！」と言われる始末。でも、ひるむことなく続けていた。イタリア語の実力は、タクシーに「〇〇へ行ってくれ」や駅で「トイレはどこですか」くらいは通じたし、5~6歳くらいの女の子に「こんにちは、私は日本人です」と話しかけたら「私はイタリア人です」答えてくれた程度のものだった。しかしある日、イタリアの会社で会議をしているとき、イタリア人の発言中に急に眠気を催し、うとうとしたらしく、隣の部下に脇をつかれた。イタリア語を聞くと眠くなるのはいつもやっている学習睡眠法の条件反射か?と一瞬思ったが実は、時差と疲れのせいだなと思い直した。笑えない思い出である。

この学習法(睡眠法?)は十数年たった今でも毎日続けている。旅行先や、入院した病室にも、レコーダーを持ち込んでイタリア語を聞いている。おかげで、イタリア映画の言葉が2~3%はわかるようになった。字幕を見ながらだと、かなりわかったような気分になれる。オペラやカンツォーネの歌詞も、原文を読んでから聞くと趣が深くなる。

睡眠法の方はかなり有効で、寝付けないなどということはほとんどない。年寄にありがちな夜中に急に目覚めてなかなか眠れない、朝早くから目が覚めてしまうなどということなど全くない。そんなとき、イタリア語を聞いているとすぐ眠くなってしまう。誠に重宝な睡眠法である。不眠症で悩まれている方は、ぜひ一度お試しあれ。

さて次は、以前は「美しい夫」だったと自称されている新入会員の永田美夫さんにお願いしよう。どうぞよろしく。

a more, amore
a more, a more, a more

平成23年多摩グリーンボランティア森木会総会 10周年記念行事

●森木会総会

平成23年11月20日(日)

10時より、平成23年森木会総会が恵泉女子大学J202号室で行われました。

会員数139名のうち出席者41名、委任状63名、合わせて104名で総会は成立



発表をする鎌田さん

しました。総会の後半の「各団体の活動報告と活動計画の発表」で、なな山緑地の会は鎌田文雄さんが、なな山の管理エリアが徐々に増えていること、24年4月からはバス通側の法面0.2haの管理を都市環境部道路課との協定により実施することなどを発表しました。その後、森木会の10周年を記念して、第1回グリーンボランティア講座を受け、10年間活動に貢献した会員7名と、講師として尽力された赤羽誠氏と清水武四郎氏に感謝状と記念品が贈されました。

●10周年記念行事



発表をする高木会長

森木会総会に引き続き、午後1時から各団体の10年の活動報告が行われ、なな山緑地の会では、高木会長がパワーポイントの画面に合わせ、なな山の活動を報告しました。

午後2時30分からは、東京都市大学教授の涌井史郎先生による「市民が育てる緑のまちづくり」の基調講演があり、皆、熱心に聴きました。その後、涌井先生、澤登早苗恵泉女子大学教授、阿部裕行多摩市長、川添修森木会会長による公開座談会が行われ、「多摩市の良好な緑環境を次世代に残すために」というテーマで、それぞれの立場からの意見が述べられ、5時に終了しました。日がとっぷりと暮れていきました。



恵泉女子大学でのパネル展示



公開座談会の様子

なな山日記（活動・観察記録）

とたにえま

<p>No.174 2011年10月9日（日）晴れ 気温21°C 参加者16人</p> <p>「なな山だより23号」配布。西の法面より埋蔵金？発掘。永田美夫さんが体験参加。</p> <p>●作業／法面のゴミ拾い、落枝片付け、シガラ作り、ダイコンの手入れ。</p> <p>●観察／ヤブマメ、ノササゲの花が咲いた。ヤマハッカの確認。</p> 	<p>No.175 2011年10月23日（日）曇り 気温26°C 参加者17人</p> <p>サツマイモの収穫、昼にふかして食べる。美味しい!!</p> <p>●作業／芋掘り、シガラの解体、中の山と法面の草刈り。</p> <p>●観察／チャ、キチジョウソウの花が咲いた。西側法面はアメリカセンダングサで覆われている。</p> 
<p>No.176 2011年11月13日（日）晴れ 気温16°C 参加者13人</p> <p>ナメコが見事に大発生。ダイコンも収穫。先週に続き今日もサツマイモをふかして食べる。</p>  <p>●作業／畑へ堆肥の運び込み。タマネギの植え付け。掛け木の伐倒処理。</p> <p>●観察／リンドウの花が咲いた。ムラサキシキブの実、カラタチバナの実など、色とりどりの木の実が見られた。</p>	<p>No.177 2011年11月27日（日）晴れ 気温14°C 参加者19人</p> <p>サトイモ大豊作。昼はサトイモ・ダイコンを使って牛肉入り芋煮を作る。</p> <p>●作業／サトイモ収穫。畑へ堆肥の運び込み。西の山の通路・階段の修理。</p> <p>●観察／ヤマユリの実、オオバギボウシの実がはじけて、こぼれ落ちていた。</p> 
<p>No.178 2011年12月4日（日）晴れ 気温14°C 参加者137人</p> <p>多摩第二小学校「おやじの会」主催の雑木林体験会が開催された。毎年行われているが、最多の参加者だった。お母さんやおやじたちの料理が振る舞われた。</p> <p>●体験項目／工作、丸太切り、カブトムシの幼虫採取、落葉掃き、落葉滑り、ターザンロープ、ぶらんこ、はしご登りなど。</p> <p>●活動内容／なな山のメンバー7人が参加。テント張り、工作・カブトムシの幼虫採取の指導、各遊びの補助。</p>	
<p>No.179 2011年12月11日（日）晴れ 気温5°C 参加者20人</p> <p>エコメッセの重田さんと新井さんを交えて、円形のシガラを作った。</p>  <p>●作業／西の山全体の草刈り。円形のシガラ作り。</p> <p>●観察／ネジキ、ヤマザクラ、キブシ、イボタなどの木々が色づき美しい。</p>	<p>No.180 2011年12月23日（日）晴れ 気温2°C 参加者20人</p> <p>年内最後の活動日。周辺の掃除と昼のトン汁と三本締めて締めくくった。</p> <p>●作業／道路沿いの清掃。西の山全体の草刈り。西の山の道整備。畑へ堆肥の運び込み。</p> <p>●観察／寒さの中でカマキリが1匹見られた。</p> 

お知らせ

●8年もの間、鎌田文雄さんに編集制作をお願いしてきました「なな山だより」は、24号から中原が引き継ぐことになりました。鎌田さんが培って下さった規範から外れないよう、心して当たりたいと思いますが、あまり自信はありません。皆様、ご協力のほど、宜しくお願い致します。（中原）

なな山だより 第24号 2012年1月8日発行

発行	なな山緑地の会
発行責任者	高木直樹
住所	多摩市和田1394-13
ホームページ	http://www.geocities.jp/nanayamaryokuchi/
編集委員	鎌田文雄 中原君代 戸谷恵麻